PRESS RELEASE

令和５年５月２日
今金町農業協同組合
全国農業協同組合中央会

“日本一の男しゃくいも”を北海道から全国の皆様にお届けします！
『今金男しゃくオーナー制度』5月15日より受付開始！
～GI(ジーアイ)認証の農産品「今金男しゃく」や加工品のセットをご自宅へ～

今金町農業協同組合（代表理事組合長：小田島 親守 以下、JA今金町）は、国が地理的表示（GI）保護制度※に認証する「今金男しゃく」と、JA今金町オリジナル加工品など本制度限定の特別な詰め合わせセットをお届けする「今金男しゃくオーナー制度」の受付を、5月15日より開始いたします。（10月～11月に発送）

「今金男しゃく」は、日本で唯一男しゃくいもとして地理的表示（GI）に登録されており、品質の高さから、シーズンを通して最も高値で取引されるプライスリーダーとして流通されている日本一の男しゃくいもです。**今回、その「今金男しゃく」と<u>北海道今金町のおいしい食材を詰め合わせた本制度限定特別企画となります。</u>**

※「地理的表示（GI）保護制度」・・・その地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因の中で育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する産品の名称を、地域の知的財産として保護する制度です。

■開催内容や、昨年の交流イベントの様子などはJA今金町ホームページからご覧いただけます。
JA今金町ホームページ【https://ja-imakane.or.jp/blog/5282/】

ご取材も承っておりますので、ぜひご検討の程お願いいたします。

1.「今金男しゃくオーナー制度」の概要

【概　要】 今金男しゃくの他、加工品詰合せをお届けします。
11月初旬にはオーナー限定の交流イベントを札幌市にて開催予定です。

【詰合せ内容】 ※一口につき以下の10点が１セットとなります。
・今金男しゃく3kg
・JA今金町オリジナルカレー4個（「今金男しゃく黒毛和牛カレー」濃厚まろやか2個、スパイシー2個）
・JA今金町オリジナルレトルトご飯3個（「今金濃米」ななつぼし・ふっくりんこ・ゆめぴりか各1個）
・ポテトチップス今金男しゃく2個　<u>合計10点</u>

【受付期間】 令和5年5月15日～9月30日（10～11月に発送予定）

【参加料】道内に配送：一口 6,500 円（税、送料込） / 道外に配送：一口 7,000 円（税、送料込）

※いずれも振込手数料はオーナー様負担となります。

【申込方法】
(1)「今金男しゃく」道民サポーターズクラブ ホームページ
【https://imakane-dansyaku.fun】または右記二次元コードの入力フォームよりお申し込みください。
(2)郵送、FAX
申込書を下記の申込先にお送りください。
(申込書は上記HPよりダウンロード、
もしくは事務局にご連絡のうえ申込書をご入手下さい)
※(1)(2)いずれの方法も、申込みと同時に指定の口座へ参加料の振込が必要です。

【募集口数】800口

■申込先および取材・照会先
〒060-0031 札幌市中央区北1条東4丁目 8-8 大竹ビル2階
今金男しゃくオーナー制度事務局 株式会社ブレナイ社 日原(ひはら)
TEL:011-231-1713 携帯:090-5229-1764 FAX:011-231-1714
メール:hihara@brenaisha.com

2.「今金男しゃく」について

北海道の南に位置する今金町で、ジャガイモの栽培が始まったのは明治24年。昭和30年に「今金男しゃく」として銘柄を確立し、それから60年以上、常に品質へのこだわりを追求し続けています。

種芋は原種・種子・食用と親子三代を同町内で生産、13.5%という高いライマン価(でんぷん量)を基準値とするなど、徹底した品質管理を実施。令和元年9月には、農産物などに与えられる国のお墨付き「地理的表示(GI)保護制度」を取得。市場の目利き達に選ばれる、ジャガイモのトップブランドです。

3. 今金男しゃくオーナー制度の目指すもの

JA今金町では60年以上にわたり、ジャガイモのトップブランド「今金男しゃく」を生産・販売、令和元年9月には地理的表示(GI)保護制度に第86号として農林水産大臣登録されました。

GI登録を契機に、産地からの情報発信・地産地消の促進を目的として令和3年6月に「今金男しゃく道民サポーターズクラブ」を設立。今金男しゃくは9割以上が東京など関東地方へ出荷されている事から、まだまだ北海道民の認知度が低く実際に食べられる機会も少ないという状況だったので、「もっと今金男しゃく食べて欲しい、今金町を知って欲しい」という想いで、令和3年7月に道民限定でオーナー制度を開始しました。

初年度、多くの方に申込みをいただき500口以上の参加数となりました。道内のみのご案内にも関わらず、道外からも多数問い合わせを頂いた事もあり令和4年度からは取り組みを全国に拡大。今金男しゃくオーナー制度は3年目を迎えます。

全国的に農業者人口が減少するなか、国産ジャガイモの生産量も減少してきています。今金町においても高齢化や農業者の減少が進んでおり、地域を支えてきた農業者の皆さんが「今金男しゃく」の栽培など持続的に安心して農業を行い食料の生産を続けていくには、その為の仕組みが必要です。JA今金町ではその一環として、この制度を通じて産地を知り地産地消に繋げ、農村が持続していける好循環の一助にしたいと考えています。

11月には札幌市にてオーナーの皆様と「今金男しゃくフォーラム&スープカレーパーティ」を開催し交流の場を設ける予定です(ゲストに北海道のスープカレー有名店「札幌らっきょ」井手剛オーナーシェフが参加予定です)。ただ単に「商品を販売する」という事ではなく、一緒に今金町を、今金男しゃくを盛り上げて欲しいという想いを「オーナー制度」という言葉に込めています

■今金町農業協同組合について
名 称 :今金町農業協同組合(いまかねちょうのうぎょうきょうどうくみあい) ※愛称「JA今金町」
所在地 : 〒049-4397 北海道瀬棚郡今金町字今金 141
電 話 : 0137-82-0211 今金男しゃくオーナー制度担当 企画審査課 工藤
ホームページ : https://ja-imakane.or.jp/